



## スペインにおけるMVNOの参入動向

KDDI総研 制度・政策グループ 服部 まや (xma-hattori@kddi.com)

### 1 スペイン携帯電話市場の概要

#### 1-1 市場の動向

スペインの携帯電話加入者数は2006年12月末時点で約4,640万（普及率：103.8%）となっており、欧州第5位の市場である。年間増加率は約8%、特にポストペイド加入者の増加傾向が目立つ。プリペイドとポストペイドの割合は2005年に逆転し、2000年に65%であったプリペイド比率は2006年には45%に減少している。2007年6月末時点では、加入者数は約4,815万、普及率は107.7%、プリペイド比率は43%となった<sup>①</sup>（脚注）。

【図表1】 スペインの携帯電話市場主要データ

	2005年12月	2006年12月	2007年6月
携帯電話加入者数	4,270万	4,640万	4,815万
普及率	96.8%	103.8%	107.7%
プリペイド比率	48%	45%	43%
携帯電話事業者数	3	4	4
MVNO*数	0	3	4

\*MVNO：仮想移動通信事業者

（CMTのデータをもとにKDDI総研で作成）



<sup>①</sup>（脚注） スペインの規制機関CMT（Comisión del Mercado de las Telecomunicaciones：電気通信市場委員会）の月次統計：2007年6月（Nota Mensual - Junio 2007）による。

## 1-2 携帯電話事業者の動向

スペインでは、既存3社に加え、2006年12月1日に3G事業者Yoigoがサービスを開始したことにより、携帯電話事業者数は4社となった（【図表2】）。

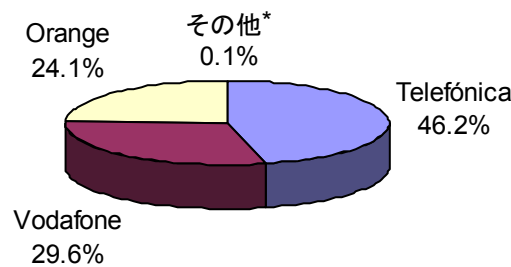
2006年12月末時点の市場シェア（加入者ベース）は、Telefónica の国内移動通信事業部門であるTelefónica Móviles España（以下、Telefónica）が最も大きく、46.2%を占めている。次いで、Vodafone España（以下、Vodafone）が29.6%、第3位のOrange（FT Españaのサービスブランド）が24.1%となっている（【図表3】）。

【図表2】 スペインの携帯電話事業者一覧

携帯電話事業者 (サービスブランド)	主要株主 (出資比率)	サービス開始年月		
		GSM	WCDMA	HSDPA
Telefónica Móviles España (Movistar)	Telefónica (100%)	1995.7	2004.5	2006.7
Vodafone España (Vodafone)	Vodafone Group (100%)	1995.10	2004.5	2006.6
FT España (Orange)	France Telecom (79.3%)	1999.1	2004.10	2006.6
Xfera Móviles (Yoigo)	Telia Sonera (76.6%)	-	2006.12	-

(各種資料によりKDDI総研作成)

【図表3】 スペインの携帯電話事業者の市場シェア（2006年12月）



\*Yoigo、MVNO

(CMT年次報告書（2006年）に基づきKDDI総研作成)

## 2 相次ぐMVNOの市場参入

### 2-1 規制機関がMVNO参入を後押し

スペインは携帯電話事業者に対してMVNOへのアクセスを義務付けている数少ない国の一つである<sup>④</sup>（脚注）。規制機関CMTがこの決定を下したのは2006年2月で、それまで「MVNO免許」が付与されていたものの、MVNOと携帯電話事業者との交渉が難航、MVNOの参入が進まなかったことに対する措置である（【図表4参照】）。CMTは、スペインの携帯電話料金はEU平均より高く、携帯電話事業者のシェアも固定化しており、市場における競争が不十分であるとし、MVNOの参入により競争の促進を図ることとした。

義務化の決定が下された後も、携帯電話事業者3社はCMTの義務化決定に反対して提訴するなどMVNOへのアクセス開放に依然として抵抗を示した。しかしCMTがMVNOとの契約締結が進展しない場合には強制的な措置を取る可能性を示し、それ以降、MVNO契約の締結が相次いでいる。

【図表4】 スペインにおけるMVNOに関する規制の経緯

年 月	内 容
2002年3月	CMTが新たにMVNO免許のカテゴリーを設定
2005年5月	CMTは、Jazztel、Tele2、BT Group等にMVNO免許を付与
2005年6月	Tele2が携帯電話事業者のネットワーク開放に関してCMTに提訴
2005年12月	CMTは、「卸売アクセス発信市場（市場15）」（表注1）の市場分析に関し、Telefónica、VodafoneおよびAmena（現Orange）の携帯電話事業者3社が共同でSMP（Significant Market Power：顕著な市場支配力）を持つと認定し、3社にMVNOへのアクセスを義務付ける提案を欧州委員会に通知
2006年1月	欧州委員会はCMTの提案に関し、市場の発展動向を引き続き注視していくべきとコメントし支持を表明
2006年2月	CMTは上記提案による規制を課すことを正式に決定。これにより、携帯電話事業者3社は、MVNOからの妥当な要求に対して妥当な料金でアクセスを提供することが義務付けられた。

（各種資料によりKDDI総研作成）



<sup>④</sup>（脚注） 米国や英国など、ほとんどの国において、携帯電話事業者（MNO）とMVNOとの間の自主的な交渉に委ねられており、MNOに対してMVNOへのアクセス提供義務を課している国は、スペイン、アイルランド（3Gのみ）、香港（3Gのみ）など少数となっている。

(表注1) 正式には「公衆携帯電話ネットワークにおけるアクセスおよび発信の卸売市場」。欧州委員会の指定する18の関連市場のうちの1つ。各国規制機関（NRA）が規制を課す場合、それぞれの市場についての分析とSMP認定を行うことが義務付けられている。

## 2-2 新規参入MVNOの概要

こうした規制機関のバックアップのもと、スペインのMVNO第1号として2006年10月にCarrefour Móvilがサービスを開始した。続いて12月にはHappy MóvilとEuskaltelが市場参入し、2006年末時点で営業中のMVNO数は3社となった。その後、2007年1月にはLebara Mobileが開業、さらに【図表5】に示すように続々とMVNO契約が締結されている。

参入企業の顔ぶれを見ると、Carrefour、The Phone House、Lebaraなど、すでに他の欧州諸国においてサービスプロバイダー（SP）やMVNO事業を展開している企業を親会社とするMVNOがいち早くサービスを開始している。これらのMVNOは現在プリペイドサービスのみを提供しており、ローエンドユーザーやスペインに居住する外国人（エスニック・コミュニティ）を主要なターゲットとしている。

またEuskaltel、BT España、ONO、Rなど、固定電話やケーブルなどの通信事業者も多数契約を締結しており、自社のサービスポートフォリオに携帯電話を加えて、マルチプレイサービスを提供する計画である。2007年8月時点でサービス開始済の通信事業者系MVNOはバスク自治区のEuskaltelのみとなっているが、2007年後半には多くの事業者がサービス開始を予定している。

そのほか、地元の小売業者や旅行会社、自動車連盟なども名乗りを上げている。

携帯電話事業者の中では、VodafoneがMVNOの受け入れに最も積極的であるように見受けられ、2007年8月の時点で6社とMVNO契約を結んでいる。VodafoneはBT Españaと契約しており、スペインにおいても英国同様にブロードバンドサービスの再販を行うことを視野に入れていると考えられる。英国ではVodafone UKはBTと2005年にMVNO契約を結んでおり、BTに携帯電話網へのアクセスを提供している。さらにVodafone UKは2007年1月からBTのブロードバンドサービスを再販し、自社ブランドでの提供を始めている。

一方、TelefónicaとOrangeはそれぞれ2社と契約締結済みである。

【図表5】 スペインのMVNO一覧（サービス開始／契約締結順）

MVNO	ホスト MNO	サービス開始年月	加入者数 (2007.3)	概要
Carrefour Móvil	Orange	2006年10月	3.4万	<ul style="list-style-type: none"> <li>親会社：Carrefour は仏大規模スーパー。仏、ベルギー、スペイン、イタリア等で MVNO 事業展開</li> <li>ターゲットユーザー：自社スーパー顧客/ローエンド</li> <li>サービス：プリペイド</li> <li>販売網：スペイン国内の Carrefour 大型店舗（154店）+Carrefour Express（82店）</li> </ul>
Happy Móvil	Orange	2006年12月	3.8万	<ul style="list-style-type: none"> <li>親会社：The Phone House は英携帯電話販売 The Carphone Warehouse の子会社。The Phone House は英、仏、スペイン等で SP/MVNO 事業展開</li> <li>ターゲットユーザー：エスニック、国際ローミングサービス利用者</li> <li>サービス：プリペイド。なお The Phone House は SP として全事業者の携帯電話サービスを販売</li> <li>販売網：The Phone House の店舗（400店）+その他の販売店（タバコ屋、新聞・雑誌販売店、空港、両替所等）</li> </ul>
Euskaltel	Vodafone	2006年12月	20.9万	<ul style="list-style-type: none"> <li>親会社：Euskaltel はバスク自治区の通信事業者。固定電話、CATV、ブロードバンドサービスを提供</li> <li>ターゲットユーザー：自社ユーザー（バスク地方）</li> <li>サービス：プリペイドおよびポストペイド</li> <li>その他：従来 Orange のサービスを利用して携帯電話サービスを提供していたが、Vodafone と MVNO 契約締結後、Vodafone ネットワークにユーザー移行中</li> </ul>
Lebara Mobile	Vodafone	2007年1月	n/a	<ul style="list-style-type: none"> <li>親会社：Lebara は英国に本拠を置き、世界約 20 カ国で通信サービス提供。欧州ではオランダ、ベルギー、デンマーク、ノルウェー、スウェーデン、スペイン、スイスで携帯電話サービス提供（MVNO）</li> <li>ターゲットユーザー：エスニック、国際ローミングサービス利用者</li> <li>サービス：プリペイド</li> </ul>
ONO	Telefónica	n/a	n/a	<ul style="list-style-type: none"> <li>ONO はスペイン最大手のケーブル事業者</li> <li>2006年12月 MVNO 契約締結</li> </ul>
Telecor	Telefónica	n/a	n/a	<ul style="list-style-type: none"> <li>El Corte Inglés（スペインのスーパーマーケットチェーン）のテレコム部門</li> <li>2007年1月 MVNO 契約締結</li> </ul>
BT España	Vodafone	n/a	n/a	<ul style="list-style-type: none"> <li>英国 BT のスペイン子会社</li> <li>2007年3月 MVNO 契約締結</li> <li>2007年第3四半期サービス開始予定</li> </ul>
PepeMobile	Vodafone	n/a	n/a	<ul style="list-style-type: none"> <li>親会社：Globalia は PePe Car（レンタカー）、PePe Room（ホテル）、PePe Travel（旅行会社）、Air Europa（航空会社）などを傘下を持つ</li> <li>2007年5月 MVNO 契約締結</li> <li>2007年第3四半期サービス開始予定</li> </ul>
R	Vodafone	n/a	n/a	<ul style="list-style-type: none"> <li>R はケーブル事業者</li> <li>2007年7月 MVNO 契約締結</li> <li>2007年末サービス開始予定</li> </ul>
Eroski	Vodafone	n/a	n/a	<ul style="list-style-type: none"> <li>Grupo Eroski はスペインの大手スーパーマーケットチェーン</li> <li>2007年7月 MVNO 契約締結</li> </ul>

RACC	n/a	n/a	n/a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ RACC (Real Automóvil Club de Cataluña : カタロニア自動車連盟)</li> <li>・ MVNO 契約締結に向けて検討中</li> </ul>
Jazztel	n/a	n/a	n/a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Jazztel はスペイン通信事業者</li> <li>・ MVNO 契約締結に向けて検討中</li> </ul>
Tele2	n/a	n/a	n/a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スウェーデン通信事業者 Tele2 の子会社</li> <li>・ MVNO 契約締結に向けて検討中</li> </ul>

(各種資料によりKDDI総研作成)

### 3 新規事業者参入後のスペイン携帯電話市場の動き

#### 3-1 加入者の動向

CMT発表の月次統計によれば、2007年1月～6月の6ヵ月間における新規加入数は175.3万となっており、現在のところ、年間増加数が370万であった前年とそれほど変わらない増加傾向を示している。

4月～6月の新規加入者における事業者別シェアを見ると、MVNOは、4月：25.7%、5月：10.1%、6月：10.5%、また4番目の3G事業者Yoigoのシェアは、4月：8.6%、5月：11.1%、6月：9.1%となっており、新規参入事業者が健闘していることが伺える。

MVNO加入者数は、2007年3月時点で約28万（Euskaltelが20.9万、Happy Móvilが3.8万、Carrefour Móvilが3.4万）となっており、市場シェアは約0.6%である。EuskaltelはこれまでOrangeのサービスを利用して携帯電話サービスを提供していたが、VodafoneとのMVNO契約締結後、既存ユーザーをホストネットワークであるVodafoneに移行しているため、増加ペースが速いものと思われる。

一方、3G事業者Yoigoの加入者数はサービス開始1ヵ月後の2006年12月末に24,000、2007年3月には10.1万となっており、順調なスタートを切っている。Yoigoは低価格とシンプルな料金体系をセールスポイントとしており、プリペイドとポストペイドの両方のサービスを提供している。なお同社は2Gのローミング契約をVodafoneと結んでいる。

#### 3-2 MNPの動向

スペインではモバイルナンバーポータビリティ（MNP）はすでに2000年から導入されており、2006年の年間移行番号数は352.7万、2006年末までの累積移行番号数は1,020万を超えている。

2007年1月以降、MNPによる番号移行数は2006年を上回るペースで増加しているが、これはYoigoとMVNOの新規参入によるところが大きいとされている。また、CMTが2007年4月に移行事務手続きの簡略化と期間の短縮を実施しており、MNPを促進

していることも要因となっている。

2007年6月の月間番号移行数は約30万で、YoigoとVodafoneおよびEuskaltelは転入が転出を上回っているが、OrangeとTelefónicaの両事業者は転出の方が多くマイナスとなっている。この傾向は2007年1月以降続いている。

### 3-3 3Gの動向

3Gに関しては、Telefónica、Vodafone、およびOrangeの3社が2004年からW-CDMA方式によりサービスを開始しているが、まだそれほど普及しておらず、2006年末時点では3Gユーザー数は全加入者の7%あまりに過ぎない。しかし、2006年には前年より4割増となる4500の3G基地局が新設されたこと、また3事業者ともHSDPA<sup>※</sup>（用語解説）（3.5G）を開始したこと、さらに新たに3G事業者Yoigoが参入したことなどから、今後は3Gユーザーの増加が見込まれている。

## 📖 執筆者コメント

スペインの携帯電話普及率はすでに100%を超え飽和状態となっており、急激な加入者増は見込めない状況である（ただしこの普及率はSIMカードをベースにしたもので、一人が複数のSIMを所有するケースも多く、また長期間利用されていないプリペイドカードも多数カウントされていると思われ、実ユーザー数とは一致しない）。いずれにしても、こうした成熟した市場でMVNOが成功するためには、的確な料金戦略やターゲット設定、統合サービスの提供などによる差別化が重要なポイントとなると思われる。

スペインの規制機関CMTは、MVNOへのアクセス義務付けに加えて、接続料金の引き下げ、MNP手続きの改正などにより携帯電話市場の活性化を図っている。MVNOと新規3G事業者の市場参入からまだそれほど時間が経っていないため、すぐにその成果を確認することはできない。しかし新規加入者の増加傾向やMNPの状況などを見る限りにおいては競争活発化の兆しが見られる。スペインの携帯電話市場においては2007年後半に多数のMVNOがサービス開始を予定しており、今後も引き続きその動向を注視していく必要があるだろう。



※（用語解説） HSDPA

HSDPA（High Speed Downlink Packet Access）はWCDMAを拡張した高速パケット通信規格で、下り最大14.4Mbpsのデータ通信速度を実現する。



 出典・参考文献

- CMTのホームページ (<http://www.cmt.es>)
- "Spain" (2007.2) : International Telecom Intelligence
- "Spain: County Report /Recent Analysis ": Global Insight
- Mobile Communications Europe誌 (2007.5.29他) : informa telecoms & media
- 各MVNOのホームページ
- その他各種現地紙記事等

## 【執筆者プロフィール】

氏 名：服部 まや (はっとり まや)  
所 属：調査1部 制度・政策グループ  
専 門：欧米・アジアを中心とした諸外国の通信市場に関する調査研究

最近の主な調査レポート：

- 世界のFMC動向シリーズ No.4 (フランス) ~France Télécomなど数社が「ワンフォン」サービスを開始、SFRは「ホームゾーン」サービスの提供へ～ (KDDI総研R&A 2006年12月第2号)
- フランスのMVNO～多様な企業が次々と新規参入～ (KDDI総研R&A 2006年11月第1号)
- France Telecom、コンバージェンスサービス提供へ向けてサービスブランドを「Orange」に統一 (KDDI総研R&A 2006年8月第2号)
- 世界のFMC動向シリーズ No.1 (英国) ~BT Fusionの最近の動向～ (KDDI総研R&A 2006年7月第1号)
- タイ携帯電話市場の最近の動き (KDDI総研R&A 2006年2月号)

Email : xma-hattori@kddi.com